

項目	観点	教科書名			
		新編新しい社会(2・東書)	小学社会(17・教出)	社会(38・光村)	小学社会(116・日文)
1 学習指導要領の教科の目標を達成するために取り扱う内容の選択について	○社会生活についての理解を図り、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるために、どのように配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 各単元において、「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」という問題解決的な学習過程で構成され、国土と歴史に対する理解が深まる工夫がされている。 地域を扱う3・4年では、「市の様子」で仙台市、「県の様子」で兵庫県を事例として取り上げている。どちらも、地形・産業・防災などの観点で、茨城県や市町村の特色と関連付けて学習できる。 災害については、東日本大地震について詳細な情報(発生日・時間・地震規模・被害地域)があり、防災教育の観点からも国土の大切さについて考えられるよう工夫されている。 調査活動、地図帳、地球儀、統計、年表など、国土と歴史に対する理解を深めるための多様な資料が活用されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 多くの単元で「やってみよう」のコーナーが設けられ、具体的な作業、活動を通して理解を深めるようになっている。 地域を扱う単元の事例(3.4年生)は、福岡県を取り上げている。産業や歴史文化、自然、他地域とのつながりなど、様々な角度から、学べるようになっている。 災害については、東日本大地震(発生日・被害状況数)をはじめ、近年、我が国で起きたその他の種類の大規模な自然災害についてもまとめている。国土の大切さについて考えられるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決型の学習を強調している。教科書にそって学習を進めていくことで、理解の深まりが期待できる。 地域を扱う単元の事例は、神奈川県を中心に、全国各地の事例も取り上げている。茨城との関係はうすいと思われる。 災害については、東日本大地震について発生日・被害状況数の記述があり、国土の大切さについて考えられるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 写真、図、文章資料が豊富で、1つ1つ丁寧に読み取ることで、さらに理解の深まりが期待できる。 わたしたちの県の例は、岡山県を取り上げており、茨城県からは遠く、つながりがうすいと思われる。 災害については、東日本大地震について発生日・被害地域の記述や発展として、被災地への国内外支援についても記述があり、国土の大切さについて考えられるよう配慮されている。
	○国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養うために、どのように配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 各単元の「いかす」という学習過程で、よりよい社会づくりを目指して、学習したことをもとに、「自分ができることを考える」「将来に向けた提案をする」「社会参画をする」など公民的資質の基礎を養うための活動が工夫されている。 多様な資料をもとに、児童が多角的に社会的事象をとらえて考えを深められるよう、構成が工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元の終末に、「深める」という頁がある。これからのくらしや社会について、社会の一員として自分に何ができるか、考えられるようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 主体的に課題を追究しながら、社会認識を深めるための道筋の一つに「ジャンプ(まとめる・広げる)」頁が設けられている。劇、新聞、事典、ルールや宣言づくりなど豊富な活動例が挙げられており、児童の関心を高めるのに役立つと思われる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「ふりかえってみよう」では、振り返りの手順が示されたり、まとめ方が例示されたりしており、自分の考えを整理して社会の一員として話し合いができるような工夫がされている。

項目	観点	教科書名			
		新編新しい社会(2・東書)	小学社会(17・教出)	社会(38・光村)	小学社会(116・日文)
2 内容の程度及び取り扱いについて	<p><基礎・基本の定着のための工夫> ○児童の発達段階を踏まえた、学び方や調べ方、資料の活用の仕方等、基礎的・基本的な知識や技能の習得を図るために、どのような配慮がされているか。</p>	<p>・各学年の重要用語を「ことば」として解説し、基礎的・基本的知識の習得を図る工夫をしている。 ・「まなび方コーナー」では、「見る・聞く・ふれる」「読み取る」「表す・伝える」という3つの観点で学習活動が整理され、技能を高める工夫がされている。 ・各単元の導入の見開き頁には、「学習のめあて」が明示され、小单元ごとに「学習の進め方」がまとめられているなど、児童が見通しをもって学習できるように工夫されている。</p>	<p>・各単元の最後には、「まとめる」というコーナーがある。単元で学習したキーワードを使ってまとめることで、基礎・基本の定着が図れるよう工夫されている。 ・3.4年上では、たんけんの仕方、地図づくりの方法が東西南北各コースごとに丁寧に記述されている。また、建物の屋上から四方位を観察する活動、地図記号と由来に関する記述が分かりやすくなっている。</p>	<p>・巻頭に「教科書をヒントに学習を進めよう」を示し、学習の進め方を箇条書きでわかりやすく説明している。 ・各小单元毎に「ホップ(見つける)」「ステップ(調べる話し合う)」「ジャンプ(まとめる広げる)」の学習段階を示し、話し合いを深める発言例を中心に、児童が主体的に問題解決的な学習を展開できるようにしている。</p>	<p>・巻頭で、学び方調べ方、課題解決の手順について丁寧に説明している。 ・「わたしの問題」～「わたしの見方・考え方」のまとまりを、何度か繰り返して学習を進めていくようになっており、単元終末の「ふりかえってみよう」の頁では、学習したことのまとめ方の例示が紹介されている。</p>
	<p><関心意欲を高め・主体的な学習活動を促すための工夫> ○社会的事象に対する関心を高め、主体的な学習活動を促すために、各種の基礎的資料の効果的な提示の仕方に、どのような工夫がみられるか。</p>	<p>・各単元で「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」という学習過程を積み重ねることで、児童が学び方を身に付け、主体的に学習できるようにしている。 ・「つかむ」では、学習問題づくりを大切に、児童が課題意識を高めて学習できるようにしている。</p>	<p>・巻頭の「教科書の使い方」には、本書の活用の仕方が分かりやすく示されている。また、単元ごとの「学びのてびき」には、調べ方や資料の読み取り方など、学習方法が具体的に示され活用しやすい。 ・3.4年版には、毎時間ごとに学習活動が例示されており、本時の学習の流れがつかめるようになっている。</p>	<p>・単元名・学習課題の文字が大きくて見やすい。写真や資料も大きく、インパクトを与えるものが多い。 ・各単元のとびらは、その単元での学習内容を示す投げかけと資料・写真で構成し、関心・意欲を高めるとともに、小単元の項目を表示して学習の見通しをもてるようになっている。</p>	<p>・巻頭で学習サイクルを示し、学習の見通しがもてるようになっている。 ・見開きの頁を使って図を大きく提示することで迫力があり、見やすい工夫がしてある。</p>
	<p><個に応じた指導のための工夫> ○個に応じた指導の一層の充実を図る上で、比較・関連付け・総合しながら再構成する学習について、どのような工夫が見られるか。</p>	<p>・主教材に関連した選択教材・発展教材が示され、児童が学習を広げ深められる工夫がされている。 ・「まとめる」では、各学年の発達段階に応じて、図表・地図・カルタ・新聞・年表など、児童が自分の考えをまとめるための多様な表現方法を例示している。</p>	<p>・単元で示されたキーワードの一覧が巻末に掲載されている。学習の振り返りに活用できるように配慮されている。 ・学習を通して分かったことや考えたことをキーワードを使いながら短文で表現できるようにしている。 ・ノートや見学メモ、手紙などのまとめ方の例が示されており、活用しやすい。</p>	<p>・「かるた作り」や「新聞作り」を参考に、一人一人の思いを生かした学習活動が展開できる。 ・「ジャンプ(まとめる・広げる)」の欄外に重要事項を「たいせつ」として表示して、参考にできるようにしている。 ・交流活動を通して学習の成果をまとめるだけでなく、新たな課題を発見させるためのコラム教材を設定している。</p>	<p>・「ふりかえってみよう」は、直接書き込めるページがあり、個に応じた学習ができるようになっている。 ・発展的な学習につながるような頁を設定し、学習したことを生かして、さらに広がりのある学習ができるようになっている。</p>

項目	観点	教科書名			
		新編新しい社会(2・東書)	小学社会(17・教出)	社会(38・光村)	小学社会(116・日文)
3 構成・配列・分量	○教材の構成や配列, 分量には, どのような特色があるか。	・選択教材では, 共通して活用できる頁を除くと同じ分量にまとめられている。 ※3・4年 「農家の仕事」と「工場の仕事」 「火事から守る」と「地震から守る」 ※5年 「低い土地」と「高い土地」 「あたたかい土地」と「寒い土地」 ・「ひろげる」における発展教材が充実している。	・「もっと知りたい」のコーナーが充実しており, さらに発展的な内容に取り組みたいときに活用できる。 ・食料生産の単元では55頁と多くの頁を割いている。 ・選択単元の取扱は小単元の構成や頁数も均等に扱われている。	・各学年1冊であることで, 学習の見通しや振り返りがしやすい反面, 児童にとっては持ち運びするには重いと思われる。 ・「食料生産とわたしたちの暮らし」は54頁と多くの頁を使用している。 ・選択単元の取扱については小単元の構成や頁数に軽重が大きい。	・「住みよいくらしをつくる」単元が1学期に配列されている。 ・5年生の「さまざまな土地の暮らし」の選択単元では, 小単元の構成, 頁数に差があり, 取扱時間が異なる。
	○学習問題, 本文資料などの配列や相互の関連については, どのような特色があるか。	・問題解決的な学習の過程において, 本時はどの学習段階が明示され, 児童が学習の流れをつかめるよう工夫されている。 ・学習過程に沿って, 写真・統計・年表など, 児童が考えを深められるよう, 本文と関係する資料を豊富に掲載している。	・学習問題, 本文, 写真・資料のレイアウトが工夫され, 見やすい。	・資料が大きくて見やすい。一部大きすぎると感じるものもある。	・文章資料「～さんの話」は詳しく記述されているが, やや長いものもあり, 児童によっては読み取りにくいことも考えられる。 ・学習問題, 本文, 資料などが見やすく配列され, 相互の関連が図られている。
4 表記・表現	○児童が親しみ進んで利用するようにするために, 用語や記号などの表記や表現に, どのような工夫が見られるか。	・「まなび方コーナー」「ことば」「学習の進め方」など, 児童が学習の進め方や技能を身に付けられるよう, 整理されている。 ・巻末には, 各学年の学習目標や学習内容に合わせた索引があり, 調べられる。 ※3・4年 都道府県・ことば ※5年・6年: ことがら・地名・国名・人物 ・学習問題は文節の区切りで改行し児童が的確に読み取れるようにしている。	・「キーワード」のコーナーが毎時間ごとに設けてある。 ・巻末には, 索引や「キーワード一覧」があり学習に役立てることができる。 ・「学習のめあて」は文節の区切りで改行されている。学習課題も色を工夫し, 課題が的確に読み取れるようになっている。	・必要に応じて欄外に「ことば」のコーナーを設け, 重要語句の定着を図っている。 ・巻末には索引と, 「これまでに学習した『たいせつ』」を掲載し, 児童が常に活用しやすいようにしている。 ・めあてや学習問題などは, 基本的に文節の区切りで改行してあり, 児童が的確に読み取れるよう配慮してある。	・頁ごとに, 難しい言葉の説明があり, 児童が理解しやすいようになっている。 ・巻末には, キーワードが載っている頁を調べる索引があり, 振り返りや追究活動に活用しやすいようになっている。
	○児童の課題意識を高めるために, 文章, 図表, 写真, 統計資料等の表現については, どのような工夫が見られるか。	・本文には子ども同士の会話文が入れられ, 各資料を関連付けながらまとめられている。 ・児童に親しみのあるキャラクターを登場人物として活用し, 学習のポイントをセリフ形式で表現することによって, 児童の興味関心を高められるようにしている。 ・図表は, 必要に応じて色だけでなく, 形や模様などでも識別できるようにされている。写真の説明も大切に, 何を示す写真か明確にしている。	・統計資料や本文, 写真資料が関連付けられ, 児童の課題意識が高められるようになっている。 ・キャラクターとその吹き出しが随所があり, 課題意識を高められるよう工夫されている。 ・図や写真が大きめで見やすく配置されている。	・導入部分での学習内容を示唆する投げかけと, 「ホップ(見つける)」での多様な写真資料などで, 児童の課題意識を高める工夫をしている。 ・グラフ・地図・イラストなどは, 見分けにくい色の組み合わせをなくし, 文字の形, 線の種類や太さを変え, 色覚特性のある児童への配慮がされている。	・登場人物の疑問から本文中で会話を進め, 自分たちの生活と関連付けながら, 課題意識を高められるようにしている。 ・グラフ・地図については, 色調や色の組み合わせを工夫したり, 斜線, ドットなどを使用したりして, 配慮されている。

項目	観点	教科書名			
		新編新しい社会(2・東書)	小学社会(17・教出)	社会(38・光村)	小学社会(116・日文)
5 体裁, 使用上の便宜	○表紙や目次, 年表など, 使用上の便宜については, どのように配慮されているか。	・目次のある扉の頁には, 各学年の学習内容や学習活動に関する写真がキーワードとともに掲載され, 児童が学習への関心を高め, 見通しをもてるように工夫されている。また, 単元, 学び方コーナーの頁が明示されている。	・目次に単元名・「学びのてびき」の頁が記され, 学習の段階に応じて利用できるようになっている。 ・6年上では, 今, 学習している時代がいつか分かるよう, 頁の端に世紀・時代が帯で表示されている。	・目次には単元名を, 次の4頁で教科書の使い方を明示している。 ・「学び方」はイラストを多く用いて分かりやすく記述されている。	・目次に学び方や調べ方, 表現のしかたなどが, イラストと共に説明してあり分かりやすい。